

■編集 西区役所総務企画課広聴係  
〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1  
TEL 641-2400 内線224~226  
FAX 612-5264

○西区広報番組「西区情報プラザ」  
FMラジオ三角山放送局76.2MHz  
毎週月曜日午前11時~

○西区ホームページ  
<http://www.city.sapporo.jp/nishi/>



「琴似屯田兵の歴史を子供たちにも知ってもらいたい」  
明治八年、北海道で初めて屯田兵が入植した琴似では、今なお、その血を受け継ぐ人たちが、先祖の功績を後世に伝えようと努力しています。  
琴似屯田子孫会の会員で、琴似屯田歴史館資料室の七尾博室長もその一人です。七尾さんは、琴似屯田兵の四代目。生まれも育ちも琴似で、「屯田兵の苦勞をしのび、明治の初めにこの地が屯田兵によって開かれたことを多くの人に知ってほしい」との思いから、



琴似屯田歴史館資料室室長

七尾 博さん(72)

琴似二条七丁目 西消防署琴似出張所二階  
TEL 614-8245

まちの人

琴似屯田歴史館資料室の  
4月1日再整備オープンに向けて奮闘中です。

昭和六十年に子孫会に入会しました。

資料室には、当時の生活用品や入植者の写真、書物など、約千点の資料があり、その多くは、すぐそばの琴似神社境内にある道有形文化財・琴似屯田兵屋に寄贈されたものです。四月一日の再整備オープンに向け、仲間と奮闘している七尾さんは、「国指定史跡の琴似屯田兵村兵屋跡や屯田兵屋、屯田の森と一緒に、この資料室にも足を運んでほしい」と話します。

最近、琴似小学校では総合

学習の時間などで屯田兵を取り上げており、当時の生活を調べるために、資料室を訪れる子供たちもいるそうです。  
郷土の歴史について子供たちの関心が高まれば、屯田兵の精神と七尾さんたちの努力は、次の世代へ着実に受け継がれていくことでしょう。

